



へいわをつくろう！

へいわをじつげんするひとびとは、さいわいである、
そのひとたちはかみのことよばれる。(マタイ 5・9)



フォコラーレ
focolare.org/japan



イエスさまのまわりには、たくさんの人ひとが あつまりました。イエスさまは、さらに たかいところに のぼりました。「ほんとうのしあわせ」について はなしたかったのです。でも、それはみんなが かんがえていたこととは ちがいました。

そのころのひとたちは、「おかねやものをたくさんもつてること」がしあわせだと おもっていました。だから おかねもちのひとたちは、びんぼうなひとを あまり たすけませんでした。けれども、イエスさまは いいます。

「ほんとうに しあわせなひとは、こころが やさしくて、たたしいことをしようとするひとです。こまっているひとを たすけて、けんかをせず、へいわをつくるひとです。」そのひとは、かみさまにしゆくふくされて、「かみのこと」とよばれるでしょう。



あるひ、パキスタンのサミナのがっこでは、さいごの じゅぎょうは ずこうでした。みんなは すこしつかれていました。なんになんかのこどもたちは、あそびはじめて、きょうしつを ちらかしてしまいました。

サミナはかなしいきもちになりました。せんせいはそのとき いませんでしたが、すぐにもどってきそうでした。サミナはみんなに「やめようよ」と いいました。ジェン4とは、キアラ・ルーピックが創立したフォコラーレの子どもたちです。
© PAFOM, フォコラーレ www.focolare.org. イラストと文・ジェン4センター監修

でも、みんなは はんたいして けんかになりそうでした。サミナはもっとかなしいきもちになりました。それでも、たたかわずに みんなをあいするようにしました。すると すこしづつきょうしつにへいわがもどり、みんながあやまつてくれました。みんながまた ともだちになれて、サミナもみんなもうれしいきもちになりました。